

経営比較分析表／団体全体（令和元年度決算）

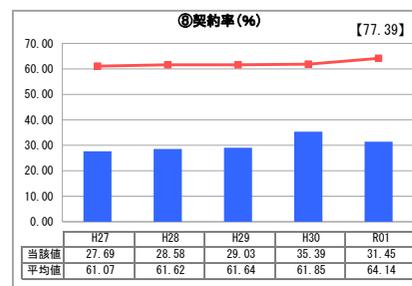
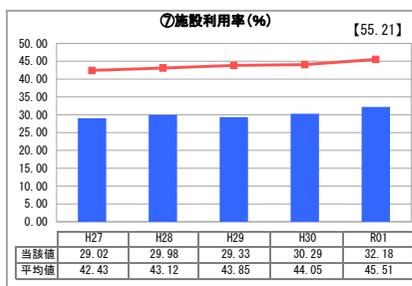
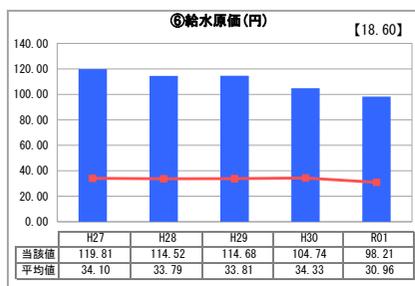
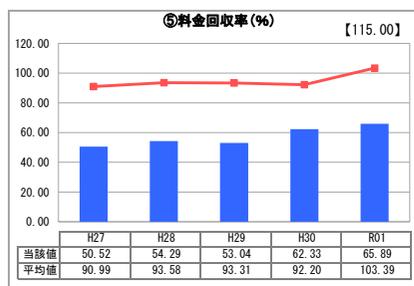
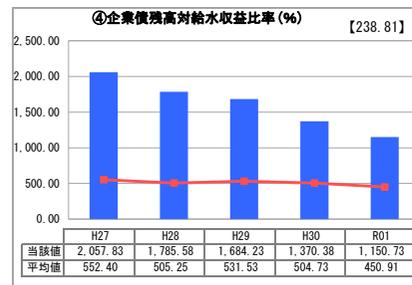
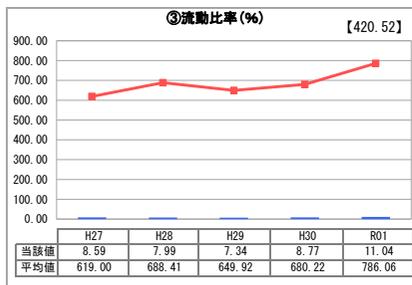
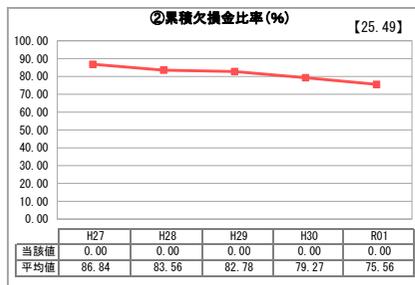
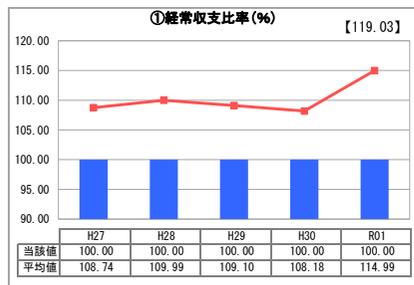
北海道 釧路白糠工業用水道企業団
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	11,160	小規模	1	3.591
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	63.0	15	3,510	民間企業出身 その他	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

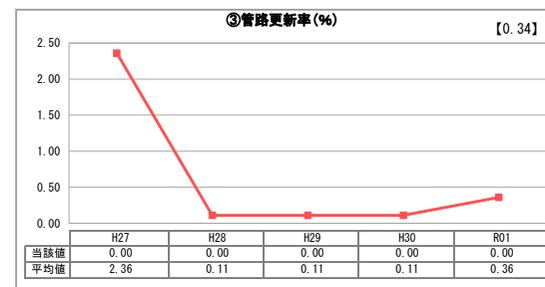
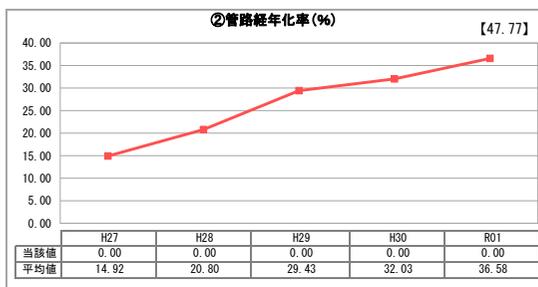
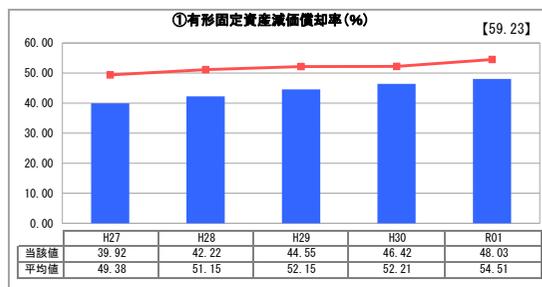
1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」維持管理費に対し給水収益が不足する額を構成市町の負担金により補填しているため100%となっている。
 「②累積欠損金比率」累積欠損金は発生していない。
 「③流動比率」流動負債（建設改良等充当企業債の償還）により平均値と比較低い値となっている。
 「④企業債残高対給水収益比率」平均値より高い値であるが、企業債償還ピーク（令和元年度）を経過した後、値は減少傾向になる。
 「⑤料金回収率」類似団体平均値より低い値となっており、料金で費用を回収できていない状況にある。
 「⑥給水原価」企業誘致推進のため良質な工業用水を供給していることから他団体と比較高い値となっている。
 「⑦施設利用率」・「⑧契約率」水利用の効率化に伴う契約水量の減などにより他団体と比較低い値となっている。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」類似団体と比較低い値となっているが、経年劣化が進んでいる電気機械設備等の更新を計画的に実施する必要がある。
 「②管路経年率」・「③管路更新率」法定耐用年数を超える管路はなく比率は0%となっている。管路の老朽化の状況を確認・把握し計画的に事業費の平準化を図りながら更新整備を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は良質で低廉な工業用水を供給しているため給水原価が高い値となり、経営は運営費用に対する料金収入不足分を一般会計の繰入金で補填している状況となっている。
 令和元年度決算では既存企業の使用量の増により増収となったが、今後の施設更新等の財源確保が課題となることから、関係機関と連携し用水型企業の誘致など水需要の拡大に努め、更なる経費節減と効率的な維持管理により経営改善に取り組んでいく。